

# 平成28年度 **RyuMIC PROGRAM**



## RyuMIC研修医の声



かわさき けいすけ

2年目 川崎 桂輔

No. 2

プログラム「ていだ」

自由度の高い研修プログラム。  
研修生活を支える快適な研修医室。  
個性派揃いの頼れる同期の研修医。  
RyuMICはあらゆる可能性を秘めています。

### 実際の研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	救急		第三内科			脳外	第一外科	第一内科			精神	
2年目	地域医療	病理										

RyuMICの大きな特徴のひとつに、研修プログラムの自由度の高さが挙げられます。プログラム「ていだ」では11ヶ月の選択期間が設けられており、各人のニーズに応じて好きな診療科で研修を行うことができます。私は初期研修終了後は病理診断科に進もうと考えており、1年目は内科・救急・外科といった必修科をローテーションし、2年目は将来を見据えて大半の期間を病理診断科に当てています。RyuMICの基本となる琉球大学医学部附属病院では各分野の専門家が揃っており、専門性の高い疾患や、複雑な病態を抱える患者に対するアプローチについて学ぶことができます。また、大学病院だけでなく市中病院をローテーションすることも可能で大学病院と市中病院両方のメリットを享受することができます。将来進みたい診療科に必要な研修プログラムを自分で考えることができるのは、RyuMICの最大のメリットのひとつだと思います。

初期研修は医師人生のスタートであり、それは想像以上に多忙を極めることもあります。そんな研修生活を支えるべく、琉球大学医学部附属病院には明るく快適な研修医室が用意されています。

冷蔵庫や電子レンジはもちろん、冷温水サーバーや電気ポット、トースターも備えています。また、更衣室やシャワー室、仮眠室も完備しており、研修医室で生活できてしまうほど居心地の良い場所となっています。研修医室には研修医以外は立ち入ることができず、セキュリティの面でも安心です。

同期の研修医が多いのもRyuMICの特徴です。研修中の同期や先輩方との間で、研修先の情報交換や、将来の進路について意見を交わすことができます。研修プログラムも志す診療科も様々な個性派揃いですが、自分の持っていない知識や考え方を共有できるのは良いことだと思います。自由度の高いプログラム故に同期全員が一度に集まることは少ないですが、飲み会やビーチパーティーなど研修医が集まるイベントを随時開催しています。

いかがでしょうか？RyuMICで研修していると思うところを書いてきましたが、正直まだまだ書き足りないことはたくさんあります。少しでもRyuMICに興味を持っていただけたなら、ぜひ一度見学にいらしてください。皆さんが有意義な初期研修を送ることができるのを心から願っています。